

育ててみよう！おすすめの多年草



シバザクラ

科名 ハナシブ科

開花 4～5月

日当たり、水はけのよい花壇におすすめ。開花期には一面に花を咲かせて華やか。花後、梅雨前に刈込み、蒸れを防ぐ。寒さに強く常緑。



宿根ネメシア

科名 ゴマノハグサ科

開花 3～6, 10～12月

香りがよく、寄せ植えなどにおすすめ。春と秋、いったん花を楽しんだら半分程度に刈り込む。常緑で-5℃ぐらいまでは耐えるが霜が降りる日が続く時は軒下などに置くと良い。



ルドベキア

科名 キク科

開花 7～10月

暑さに強く、夏に花が咲く。多年のものは比較的大きくなるので、日当たりの良い花壇栽培がおすすめ。矮性の品種はプランターにも向く。冬は地上部が枯れ、地面に小さな葉だけ残る。一年草扱いの品種もあるので注意。



エキナセア

科名 キク科

開花 6～8月

華やかな花が夏の間楽しめる。ルドベキアと同様、矮性のものはプランターでも使える。寒さにも強く、育てやすい。八重咲きなど、品種が多く「インディアンハーブ」とも呼ばれ、乾燥してお茶にできる品種もある。



サルビア・ネモローサ

科名 シソ科

開花 5～7月

サルビアの仲間には「ブルーサルビア」や「アメジストセージ」のように宿根の品種が多数あります。中でもネモローサは花茎にぎゅっと花を咲かせ、比較的コンパクトなので、花壇でもプランターでも育てやすい品種です。冬は小さな葉を残し枯れる宿根草。寒さに強い。



ガウラ

科名 アカバナ科

開花 5～11月

白や薄ピンクの小花が細い花茎に穂状に咲き、風に揺れる姿が美しく、その姿から「ヤマモモソウ」「白蝶草（ハクチョウソウ）」などと呼ばれる。最近はピンクの色が濃い矮性の品種が良く出回っており、寄せ植えなどにも向いている。宿根草で冬は地上部は枯れる。



クリスマスローズ

科名 キンポウゲ科

開花 1～3月

日陰でも育つ常緑植物。オリエンタリスという品種が交配されたものが多く出回っており、花色や花の形が豊富。花びらに見える部分はガクで、散ることがなく長く楽しめる。夏の多湿は苦手、休眠期に入るため、若干乾かし気味に育てる。



アガパンサス

科名 ヒガンバナ科

開花 6～8月

真つぐな茎に清涼感のある青い花を多数咲かせる。強健であまり植える場所を選ばず、手がかからないため、花壇に良く植えられる。やや日陰でも育つが、花つきが若干悪くなる。最近は小型の品種も見られる。